

事業番号	04 02 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	文化財の保存活用事業	部局	県民文化部	課・室	文化振興課				
		実施期間	S25 ～	E-mail	bunkashinko @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

- ・過疎化・少子高齢化などを背景に、文化財継承の担い手不足による文化財の滅失や散逸等の防止が緊急の課題となっている。そのため、文化財に対する県民の理解を深め、所有者等による文化財の保護（保存・活用）を推進するとともに、地域社会総がかりで文化財を確実に未来に継承する必要がある。
- ・県立歴史館による展示公開の更なる充実、新規イベントの開催など、県民が楽しく利用できる事業を工夫する必要がある。

2 事業目的

- ・文化財の確実な保護・継承と活用を推進することにより、県民の文化財に対する理解を深めるとともに地域活性化に資する。
- ・県立歴史館において歴史資料等を収集・保存し、広く県民の利用に供することにより、県民の教養向上と文化の振興に寄与する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①文化財保護のための文化財指定の推進及び保存・活用の支援
- ・文化財指定を推進するため、現地調査等を実施するとともに文化財保護審議会を開催
 - ・指定文化財や埋蔵文化財の現状把握や適切な管理のため、文化財パトロールや埋蔵文化財包蔵地パトロールを実施
 - ・指定文化財の所有者等が実施する保存修理や防災対策、活用事業に対する補助
 - ・文化財保存活用地域計画等の策定・運用支援
 - ・地域振興局と連携した文化財の利活用や担い手確保の促進
- ②県立歴史館事業の推進による学習機会の充実
- ・歴史資料等の収集、保存整理や所蔵品のデジタル化、新たな長野県史の編さんに向けた準備
 - ・所蔵資料の公開活用や県民への学習機会の提供のため、企画展や各種講座等を開催
 - ・中南信地域での「お出かけ歴史館」開催や、Webを活用した情報発信を実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	新規の文化財指定等件数	件	19	23	↗	22	↘	26	未達成 過去5年間の実績とR6年度中の指定等が見込まれる件数を勘案して設定
②	県立歴史館利用者数	人	66,533	62,542	↘	61,812	↘	100,000	未達成 コロナ前の水準（10万人）に戻すことを目標とする

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
3-2①	文化芸術の振興と文化芸術の力の様々な分野への活用										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R7年度	692	381,988	0	382,680	337,129	350,336	38.5
R6年度	10,500	393,243	△ 28,576	375,167	324,619	350,512	33.0
R5年度	22,084	359,696	△ 25,059	356,721	331,014	338,937	32.0

事業番号	04 02 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）			☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	■点検
事業名	文化財の保存活用事業		部局	県民文化部	課・室	文化振興課		

7 主な取組実績と成果

①文化財保護のための文化財指定の推進及び保存・活用の支援

・文化財保護審議会を10月及び3月に開催して、指定候補案件3件について諮問を行うとともに、県指定を2件行い、国登録等が20件行われた。

・指定文化財や埋蔵文化財の現状把握や適切な管理のため、文化財パトロールを595件、埋蔵文化財包蔵地パトロールを491件実施した。

・国庫補助が交付される国指定等文化財の修理、防災事業に対する県の随伴補助を29件行うとともに、県指定文化財の修理、防災等の事業に対する県の随伴補助を12件行った。

・市町村の文化財保存活用地域計画について、令和7年度に2件が国の認定を受けた。また、2件が現在策定中であり、その策定支援を行った。

・文化財の利活用を促進するため、地域振興局とともに、県内にある4つの文化庁認定の日本遺産の協議会に参画した。とりわけ甲信縄文文化発信・活性化協議会には事務局として参画してその活動を促進した。また、担い手確保を促進するため、シンポジウムを開催した。

②県立歴史館事業の推進による学習機会の充実

・学校教育への協力・連携では、学校見学実績が10,693人（前年比42人増）となったほか、大学の博物館実習（8名）、中学校等の職場体験学習（14名）を受け入れた。

・所蔵品展のほか、企画展（「霊場小菅」「木製祭祀具」「安曇野」「所蔵品展」）で23,206人（前年比1,703人増）、常設展で28,662人（前年比497人の減））に入場いただいた。

・県立歴史館講座（7回）、考古学体験講座（3回）、古文書講座（34回）を開催。

・出前講座（箕輪町、大桑村、阿南町で合計50名参加）、お出かけ歴史館（4回）、出前授業の実施やホームページにおいて情報発信等を実施。

・県民参加型の取組として、自主学習会（古文書愛好会）を開催（参加者延べ697人）。

・新しい長野県史の編さんに向けて、有識者を交えた会議を24回開催し、編さん体制や編集計画等の検討を行うとともに、歴史資料の所在調査等を実施した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	新規の文化財指定等件数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
県指定文化財の件数は増加したが、国指定等文化財の件数が減少したため、昨年度より全体の件数が減少し、目標には届かなかった。							
指標②	県立歴史館利用者数	R6年度推移	↘	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
常設展の入場者は、前年度比で497人の減、企画展の入場者数は1,703人の増となったが、地域展の入場者数などが減少したことなどから、全体としては、前年度に比して入館者数が730人の減となり、目標値である100,000人には到達しなかった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

・文化財に対する県民の理解を深めるとともに、文化財を未来に継承していく必要がある。

・所有者等による文化財の保護・活用を推進していく必要がある。

・地域振興局と連携した文化財の利活用や担い手確保をさらに促進する必要がある。

・歴史学習の拠点として、より多くの人に県立歴史館を利用してもらう必要がある。

・芸術・観光・地域振興に関連する施設との連携を強め、今まで以上に来場者の満足度を高めていく必要がある。

(2) 事業改善の方策

・県内文化財の指定等の推進により、文化財に対する県民の理解を深め、未来に継承していく意識醸成を図る。

・所有者等による文化財の保護・活用を支援し、文化財の確実な保護・継承を推進するとともに、市町村の文化財保存活用地域計画の策定・運営を支援し、観光の振興や地域の活性化を図る。

・県内の文化庁認定の日本遺産の活動を支援するとともに、民俗芸能の保存・継承に向けた調査、研究等を実施し、地域に根差した保存・継承手法を確立し、県全体の支援体制を図る。

・県民の歴史遺産を後世に確実に継承するため、県立歴史館における史資料の収集・整理・保存・調査研究を引き続き実施する。

・県民の歴史学習の拠点として、各種講座の開催、魅力ある企画展、アウトリーチ活動等を実施するとともに、常設展示のリニューアルを検討する。

事業番号	04 02 02	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	文化財の保存活用事業			部局	県民文化部	課・室	文化振興課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	文化財総合対策事業		103,863 千円	130,586 千円	114,647 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	文化財総合対策	直接	・文化財指定のための調査、審議会開催 ・指定文化財の現状把握や適切な管理のための文化財パトロールの実施 ・埋蔵文化財保護のための埋蔵文化財包蔵地パトロールの実施 審議会開催2回、文化財パトロール595件、埋蔵文化財パトロール491件		
2	文化財の修理及び防災事業	補助金	指定文化財の所有者等が実施する保存修理や防災対策、活用事業に対する補助 補助件数41件（国指定等29件、県指定12件）		
3	民俗芸能保存・継承支援事業	直接	・担い手確保を促進するための取組を実施（民俗芸能の保存継承に向けたシンポジウムの開催等） シンポジウム開催1回		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	県立歴史館事業		235,074 千円	219,926 千円	235,689 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	総合情報及び企画展等事業	直接	・常設展示の管理運営 ・企画展（「安曇野」、「木製祭祀具」、「霊場小菅」、「所蔵品展」）の開催 ・中南信地域の小中学校・公民館等への「お出かけ歴史館」の実施 「お出かけ歴史館」実施数4箇所		
2	文献史料事業費	直接	・古文書講座の開催 ・信州にゆかりのある歴史資料の購入 ・新たな長野県史の編さんにに向けた検討、歴史資料の所在調査等 ・上・中・初級者向け古文書講座開催数25回 ・県史編さんに係る会議開催数24回		